

長野県特別支援学校 ICT 通信

令和4年11月30日 第1号

長野県特別支援学校 ICT 活用推進担当者会

特別支援学校における ICT 活用が進んでいます

長野県の特別支援学校では、1人1台のデジタル端末としてiPad（アイパッド）等が導入されています。学校での個別学習や調べ学習で使ったり、コミュニケーションを助ける道具として使ったりと、様々な場面で活用されています。

また、ICTの活用をより充実させていくために、今年度から各校に1人ずつ「ICT活用推進担当者」が配置されました。加えて4人（北信、東信、中信、南信に1人ずつ）のブロックリーダーが、地域内の活用や学校間の連携をサポートしています。この通信では今後、県内の特別支援学校におけるICT活用の状況を、みなさんにお知らせしていきたいと思えます。



iPadが1人1台！

じどうせいと
児童生徒の
みなさんへ

みなさんはどうやって使っていますか？



がっこう じゆぎょう
学校の授業



しゃしん
写真をとる



こんにちは！

かいわ
あいさつや会話



ほかにもいろいろな
つか
使いかたがあるよ！



つうわ
ビデオ通話

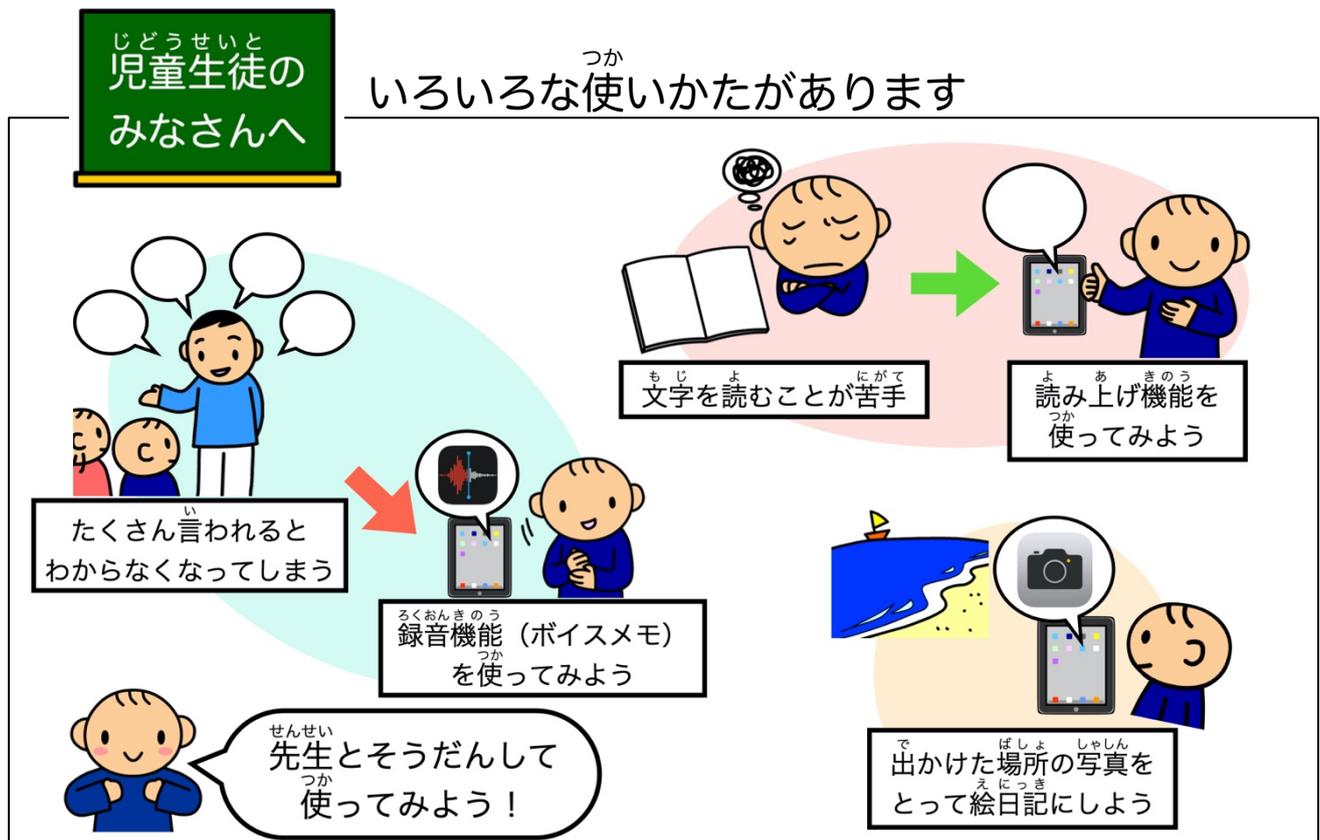
「GIGAスクール構想」ってなに??

日本の学校における ICT 環境の整備や、授業でのデジタル機器活用は、他の国と比較して遅れていることが指摘されています。そこで文部科学省は、タブレット端末 (iPad など) や電子黒板などのデジタル機器を使った授業を「令和の時代における学校のスタンダード」と位置付け、1人1台端末の整備や、通信ネットワークの整備を行うこととしました。それによって、これからの社会を生きていく子どもたちの「情報を活用する力」の育成を進めていくこと。それが GIGA スクール構想です。



学校の授業はどうなるの??

iPad 等が導入されたことで、「学習では必ず iPad を使わないといけないのだろうか?」という心配をされる方もいるかもしれません。特別支援教育での ICT 活用では「情報活用能力の育成」とともに「障がいによる学習上や生活上の困難さを改善・克服する」ことが大切であるとされています。今まで学校で行われていた教育活動を基盤にしつつ、個々に必要な場面で ICT を活用することで、児童生徒の社会自立に向けた活用を支援していくことが大切です。



文責：長野県特別支援学校 ICT 活用推進ブロックリーダー